

平成 31 (2019) 年度スポーツライミング神奈川県代表選手・強化選手選考基準

平成 31 年 3 月 26 日

神奈川県山岳連盟

国民体育大会スポーツライミング競技神奈川県代表選手

県代表選手を選考する最終的な権限は神奈川県山岳連盟が有する。代表選手の選考は以下の基準に基づき競技委員会が推薦し、神奈川県山岳連盟理事会で承認することによって決定する。

1 代表選手選考方針

- (1) 関東ブロック大会を通過し、本国体においても入賞の可能性が高い選手の組み合わせを重視する。
- (2) リード、ボルダリング共にバランスよく取り組む選手を選抜する。
- (3) 行動規範を重視し、神奈川県山岳連盟を代表するに相応しい選手を選抜する。

2 前提条件

- (1) 平成 31 年度日本山岳・スポーツライミング協会（以下「JMSCA」と呼ぶ。）に選手登録（A 登録か B 登録かは問わない）をしている者
- (2) 県内在住・在勤・在学又はふるさと登録した者で神奈川県代表になる意思のある者
- (3) 神奈川県山岳連盟に加入する者（未成年は保護者も加入）
- (4) 成年男子・女子は 2001 年 4 月 1 日以前に生まれた者
- (5) 少年男子・女子は 2001 年 4 月 2 日～2005 年 4 月 1 日に生まれた者
- (6) 神奈川県山岳連盟の主催、主管する大会や強化育成事業等に積極的に参加する意思のある者

3 選考における優先順位

(1) トップアスリート参加資格特例措置対象者

原則として神奈川県予選大会（オール神奈川とボルダリング神奈川カップ。以下「県予選」と呼ぶ）に参加すること。ただし、当該週及びその前後にワールドカップ及び同等の規模の大会に日本代表として出場する大会があり、調整が困難な場合を除く。

- ① 両方（リード及びボルダリング）の種目で特例措置対象になっている選手
複数の選手が該当する場合は、ボルダリングジャパンカップ（以下「BJC」と呼ぶ）及びリードジャパンカップ（以下「LJC」と呼ぶ）の順位の合計が小さい選手から優先する。
- ② 片方（リード又はボルダリング）の種目で特例措置対象になっている選手で、少なくとも特例措置の対象でない種目の県予選に出場し、エキスパートクラスで決勝進出（1 ラウンドの場合は 6 位入賞）以上の成績の者
複数の選手が該当する場合は、BJC 及び LJC の順位の合計が小さい選手から優先する。

(2) 県予選の順位点の合計点の昇順

順位点の計算は両大会にエキスパートクラスで参加しているカテゴリー別選手内での順位

付けで行う。ただし、上記「1 前提条件」に該当しない選手の順位を除く。

(3)(2)において順位点が同点の場合は、当該年における BJC 及び LJC の成績を次の順で優先

① 上位 20 位以内に入っている大会の数及びその順位

② 上位 30 位以内に入っている大会の数及びその順位

③ 上位 40 位以内に入っている大会の数及びその順位

(4) (少年男子・女子カテゴリーにおいて) (3)においてもなお同点の場合、ユース選手権（リード又はボルダリング）上位 3 位入賞者

(5) それでもなお同着がいる場合、県予選及び BJC、LJC、ユース選手権の成績を勘案して総合的に判断する。

4 当該年度の国民体育大会（以下「国体」と呼ぶ。）の各種別（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）3 名ずつ（正代表 2 名及び予備登録選手 1 名）は神奈川県選手強化事業による強化選手に選出される。

5 国体代表選手としての特典

(1) 神奈川県为国体代表選手として選手強化事業の対象となる。

(2) 練習に関わる施設使用料、交通費、強化合宿の費用などが規程により一定額が助成される。

(3) 選手強化期間中、代表選手としてジャパンカップ、ユース選手権などに出場する際の旅費などについて一定額が助成される。

(4) 代表選手は当該年度中のスポーツ安全保険に加入する。

(5) 保険料は神奈川県山岳連盟（以下「連盟」と呼ぶ）が負担する。

(6) 関東ブロック大会および国体への大会派遣費用について、県の規程によって助成される。

神奈川県山岳連盟ジュニア強化選手

県の強化選手を選考する最終的な権限は神奈川県山岳連盟が有する。強化選手を選考は以下の基準に基づき競技委員会が推薦し、神奈川県山岳連盟理事会で承認することによって決定する。

1 強化選手選考方針

- (1) 将来の国体代表候補選手として入賞できる実力と強い意欲を持った選手を選抜する。
- (2) リード、ボルダリング共にバランスよく取り組む選手を選抜する。
- (3) 将来的に全国大会、国際大会で活躍できる素養を持った選手を選抜する。
- (4) 行動規範を重視し、神奈川県山岳連盟を代表するに相応しい選手を選抜する。

2 前提条件

- (1) 県内在住・在勤・在学者で神奈川県代表になる意思のある者
- (2) 神奈川県山岳連盟に加入する者（未成年は保護者も加入）
- (3) 2002年4月2日～2008年4月1日に生まれた者
- (4) 神奈川県山岳連盟の主催、主管する大会や強化育成事業等に積極的に参加する意思のある者

3 選考における優先順位

- (1) 次年度の少年男女国体代表候補選手（男女それぞれ最大5名ずつ）
種別ごと（少年男子、少年女子）に選考
 - ① 2002年4月2日～2005年4月1日に生まれた者（中学3年生～高校2年生）
県予選のエキスパート（男子、女子）で男女別県内選手1位を優先し、残りを国体代表選考方法と同じ選考基準で上位若干名を選考
 - ② 2005年4月2日～2006年4月1日に生まれた者（中学2年生）
県予選のエキスパート（ジュニア）で男女別県内選手1位
- (2) 将来の少年男女国体代表候補選手（(1)の選手を含めて男女それぞれ最大7名ずつ）
2005年4月2日～2008年4月1日に生まれた者（中学2年生～小学6年生）
 - ① 県予選のエキスパート（ジュニア）で男女別県内選手3位以内に入賞選手（同学年2名以内）
 - ② 少年カテゴリーの継続性を保つのに必要と思われる選手を競技委員会で協議し、決定する
 - ③ 2008年4月2日以降に生まれた者で、著しく優秀な成績を取めたと認められる者

4 ジュニア強化選手の特典

- (1) 神奈川県国体代表候補選手としてジュニア強化事業の対象となる。練習に関わる施設使用料、交通費、強化合宿の費用などが規程により一定額が助成される。
- (2) 関東小中学生選抜クライミング選手権大会への派遣選考において優先される。
- (3) 強化選手は当該年度中のスポーツ安全保険に加入する。保険料は連盟が負担する。

JOC ジュニアオリンピックカップ神奈川県推薦選手

1 前提条件

- (1)平成 31 年度 JMSCA に選手登録（A 登録か B 登録かは問わない。）をしている者
- (2)県内在住・在勤・在学者で神奈川県代表になる意思のある者
- (3)オール神奈川にエキスパート（男子・女子・ジュニア）で出場している者
- (4)ジュニアは 2000 年 1 月 1 日～2001 年 12 月 31 日に生まれた者
- (5)ユース A は 2002 年 1 月 1 日～2003 年 12 月 31 日に生まれた者
- (6)ユース B は 2004 年 1 月 1 日～2005 年 12 月 31 日に生まれた者
- (7)ユース C は 2006 年 1 月 1 日～2007 年 12 月 31 日に生まれた者

2 選考における優先順位

(1) JMSCA 推薦選手

- ① 前年度の JOC の各年齢別グループの決勝進出者
- ② 日本代表選手（リード及びボルダー）
- ③ JMSCA 主催大会における優先
 - ・ 全国高等学校選抜スポーツライミング選手権大会
 - ・ ボルダリングジャパンカップ
 - ・ リードジャパンカップ
 - ・ 日本ユース選手権リード競技大会
 - ・ ボルダリングユース日本選手権大会
- ④ 上記①～③までに該当しない選手の内、その前年度の国民体育大会（本大会）の各種目で上位 8 位迄のチームの選手

(2) 次年度の少年男女国体代表候補選手（男女それぞれ最大 1 名ずつ）

ただし、男子 5.12c、女子 5.12b が登れない選手は対象外とする。

(3) オール神奈川のエキスパート（ジュニア）で男女別県内選手 1 位

男女の優先は、上記(1)(2)で選考された人数が少ない性別を優先する。

(4) オール神奈川のエキスパート（ジュニア）で県内選手 3 位以内に入賞

ただし、日本ユース選手権リード競技大会に出場している選手を優先する。

(5) オール神奈川のエキスパート（ジュニア）で県内選手 6 位以内に入賞

ただし、日本ユース選手権リード競技大会に出場している選手を優先する。

(6) 少年カテゴリーの継続性を保つのに必要と思われる選手を競技委員会で協議し、決定する。

3 推薦と大会派遣について

- (1) 上記の基準に従って、優先順に推薦名簿に記載し、JMSCA に提出する。（JMSCA 推薦選手を除く）
- (2) JMSCA から地方連盟推薦枠人数が発簿上位から選出される。
- (3) 大会への参加申し込み、参加費の払い込み表され、名などは選手及び保護者の責任で行う。
- (4) 連盟役員による大会への帯同、引率はしない。また参加に関わる費用は自己負担とする。